

# 入退院支援の流れとポイント



入院・入所前から、連携可能な支援チームの構築

**病院**

入院前に、本人へ説明、希望、医療同意等の確認

※病院・CMは加算算定

**CM**

CM⇒病院へ、日常の様子、支援状況の情報提供

**病院**

○病院⇒包括、CM、社協等へ連絡

○必要に応じカンファレンス開催

入院申込書チェック

本人の希望、意思判断能力のチェック

②判断能力の有無等の確認

○入院にかかる課題の明確化と支援の必要性の確認・共有

- ①連絡先
- ②治療計画等への医療同意
- ③必要物品の準備
- ④支払い（能力・方法）の確認
- ⑤退院支援の関係者の確認
- ⑥死亡時対応（各提出、搬送）

本人の意思推定・検討チームの構築

①③④⑤⑥本人の希望と病院等の申し出による、本人支援のためのチーム構築（本人の希望に沿った支援についての役割分担の確認）

病院：入退院支援加算  
(1)入院前生活状況、家族状況、継続中の医療、介護認定・介護サービスの利用状況、今後の生活に対する意向  
⇒  
(2)退院困難者 入院前～退院支援を開始

病院：介護支援等連携指導料（入院中2回まで）

CM：入院時情報連携加算  
(1)入院前生活状況、継続中の医療、利用者・家族の思い、CMの評価等  
(2)入院7日までに持参または送付

状況確認の面会、医療機関からの情報収集、IC同席、ケアプラン、要介護認定区分変更の検討  
退院前カンファでの確認等

CM：退院・退所加算（入院中3回まで）

# 入退院支援の流れとポイント

モデル事業検討 11.16(長野市社会福祉協議会) ②



○入院中に、本人へ説明。  
○本人の意思判断の状況、希望の確認

○カンファレンス  
(病院⇒包括、CM  
⇒入院時の様子、支援状況の情報提供

**認知症**等で判断能力の低下の場合は、市・地域包括ケア推進課、後見支援センターへ相談。

⇒判断能力ある場合は、「おひとりさま」あんしんサポート相談室へ相談

- ③必要物品の準備
- ④支払い(能力・方法)の確認
- ⑤退院支援の関係者の確認
- ⑥死亡時対応(各提出、搬送)

本人支援のためのチーム構築・本人の希望に沿った役割分担の確認

○おひとりさま～事業利用者  
⇒社協へ連絡

○利用者以外  
⇒関係者へ連絡  
⇒ケース会議

○おひとりさま～事業利用者  
⇒社協へ連絡

○利用者以外  
⇒親族、友人、支援者へ連絡  
⇒ケース会議

病院：入退院支援加算  
(1)入院前生活状況、家族状況、継続中の医療、介護認定・介護サービスの利用状況、今後の生活に対する意向  
⇒

(2)退院困難者 入院前～退院支援を開始

病院：介護支援等連携指導料  
(入院中2回まで)

CM：入院時情報連携加算  
(1)入院前生活状況、継続中の医療、利用者・家族の思い、CMの評価等  
(2)入院7日までに持参または送付

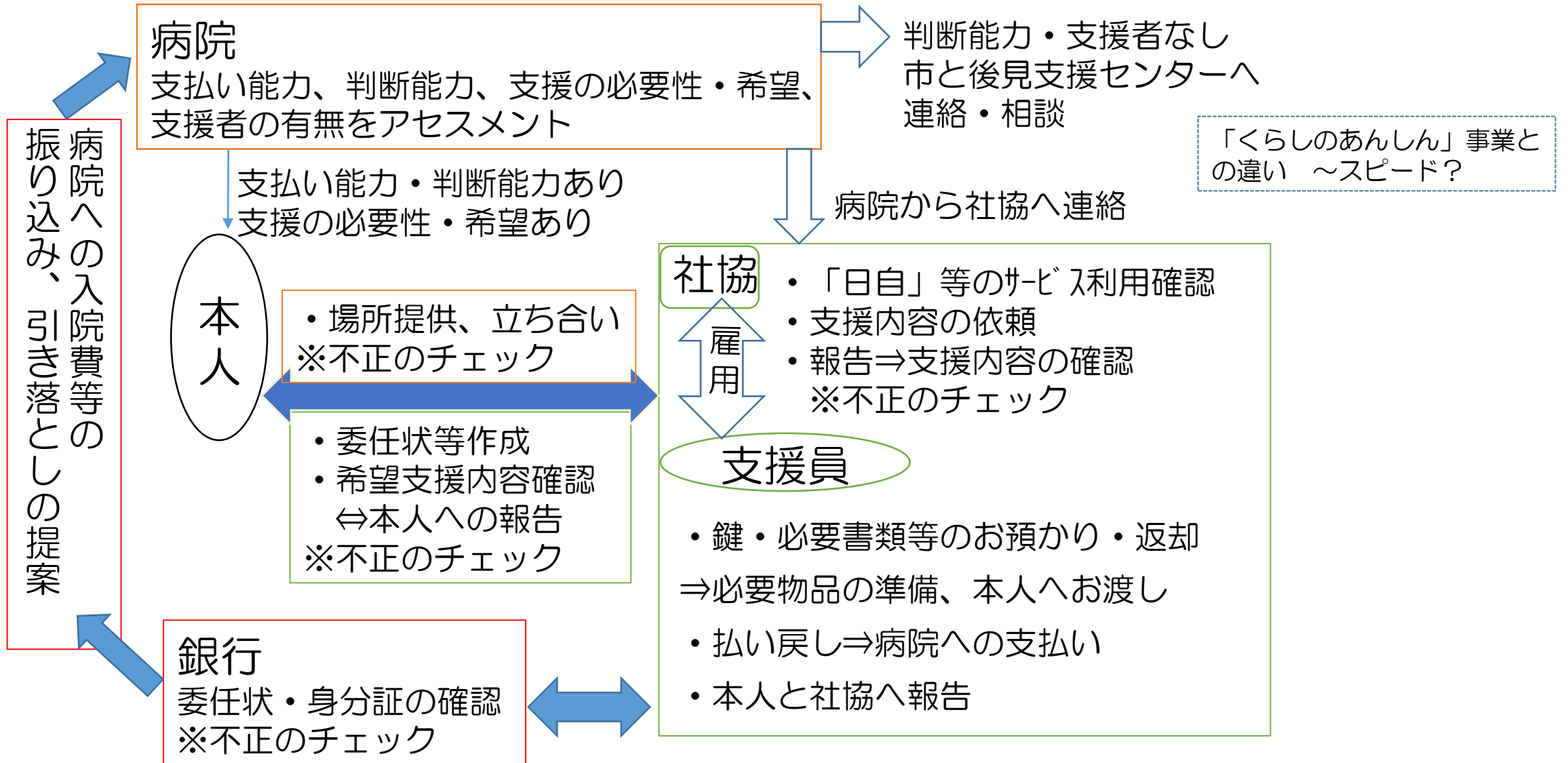
状況確認の面会、医療機関からの情報収集、IC同席、ケアプラン、要介護認定区分変更の検討  
退院前カンファでの確認等

CM：退院・退所加算  
(入院中3回まで)

# 支払い

## 判断能力のある方の緊急的支払い(財産管理)支援

～病院に金融機関がない場合の入院費支払い



# 支払い (払い戻し)支援員

- 市民後見人講座修了者等の権利擁護への意識の高い者
- 社協での雇用とし、「支援員」の身分証明書を持って、銀行で払い戻し支援を行う。
- 社協での雇用・業務として、払い戻し等支援を行い、本人と社協への報告を行い、一定の監視体制を組む。

# 支払い 不正防止(チェック)

- 病院: 契約の病院職員の立ち合い  
入院費用⇒支払いのチェック
- 銀行: 支援員の身分証の確認
- 支援員: 本人への報告、社協での業務報告
- 社協: 契約、支援員からの業務報告のチェック

# 預託金？

- 身元保証人の代わりとして、支払い費用の目安を入院前・入院時に、病院で預託金をお預かりする。

杉並区「あんしん未来支援事業」の場合は預託金450,000円

# 経済的困窮者への入院費の貸し出し基金？

- 保険証の確認⇒減免制度、生活保護の検討⇒病院にて支援
- 基金の創設～1口〇〇〇〇円で登録。お預かり金を基金として積み立て、支払いを行う。
- 他患者の支払いが滞った場合に、貸し出し？
- ※課題：管理等人件費、新事業？